



## 平成24年度の振り返りと平成25年度の展望

特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治

平成23年6月に「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」が可決され、平成24年4月から施行されました。この改正法案の狙いは、地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護保険事業計画や人材養成などサービス提供の基盤を強化することであり、平成24年度の診療報酬・介護報酬同時改定を視野に入れ、医療との連携強化に力を入れることにあります。

平成24年3月には、「介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会」が立ち上がり、介護保険の要とされる介護支援専門員養成のあるべき姿が検討されており、次期介護報酬改定などに反映される見通しであります。このあり方検討会は、介護支援専門員の質が低下しているといった批判を踏まえて、「自立支援型」のケアマネジメントの普及を図ることを求めています。

また、厚生労働省では、ケアプラン様式の見直しをする方向にあり、様々な議論が交わされてきています。

さらに、介護支援専門員の更新研修のガイドラインの見直しが行われており、今、県の指導者を対象に研修が実施され、近々、伝達研修が行われようとしており、介護支援専門員を取り巻く取り組みが、めまぐるしく展開されようとしています。

このような中で、今年度当協会では、会員の皆様にきめ細かい情報を提供することを目的として、ホームページを立ち上げました。また、公益財団法人大同生命厚生事業団より「地域保健福祉研究助成」を受けて、認知症高齢者のケアプラン作成に活かすアセスメントシートの研究開発の研究事業を手がけることになりました。研修事業は、各地区協会との連携のもとに、会員のニーズの高い研修を実施してきております。

衆議院が解散し、選挙の結果、政権が交代しました。政権与党である自由民主党のマニフェストをみると、ケアマネジャーの国家資格化を目指す。介護保険施設での専従化を進める。という公約がありました。これらは、これまで会として、日本協会とともに運動を展開してきたことでもあり、実現に向けて一層の努力をして参りたいと考えております。

### 【目次】

【巻頭言】秋田県介護支援専門員協会 会長 福本 雅治	1
【県内3地区協会活動紹介】	2-4
【ケアマネペンリレー】	5
【インフォメーション】秋田県長寿社会振興財団（LL財団）	6
【秋田県介護支援専門員協会 運営活動報告（事務局・部会等）	7-8

## 県内3地区協会活動紹介

- 県北地区：大館鹿角・北秋田・能代山本
- 中央地区：男鹿湯上南秋・秋田・本荘由利
- 県南地区：大曲仙北・横手平鹿・湯沢雄勝

### 県北地区介護支援専門員協会

地区会長：米川 譲 （二ツ井地域包括支援センター）

事務局：選任中につき会長兼務

TEL 0185-73-6662 FAX 0185-73-6665

地区会員：318名（平成25年1月31日現在）

#### 【活動報告】

◇平成24年度 秋田県県北地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日時：平成24年4月28日（土） 14時30分～16時00分
- ・場所：秋田県北部シルバーエリア ・参加者：124名
- ・演題：今、介護支援専門員に求められているもの
- ・講師：東内 京一 氏（埼玉県和光市保健福祉部次長兼あんしん課長）

◇平成24年度 秋田県県北地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日時：平成24年6月30日（土） 10時00分～16時00分
- ・場所：秋田県北部シルバーエリア ・参加者：91名
- ・演題：仲間や組織内での支え合い、高め合い
- ・講師：植田 寿之 氏

ケアマネジャーなどの対人援助職は人間相手の仕事であるため燃え尽き症候群（バーンアウト）に陥ることが多く、最悪の場合には離職に繋がる危険性があります。今回の研修会ではチーム・仲間で支え合い、そして高め合いながら対人援助職の燃え尽きを防ぐための技術を習得しました。



初めにスーパービジョンの基礎理論や援助関係形成の原則を学び、その後グループに分かれて、各参加者が「困っている問題」の事例を発表し合いそれを元に燃え尽きを防ぐためのピアスーパービジョンの具体的な技法について演習を通して体験しました。

燃え尽き症候群は対人援助職の職業病とも言え、日常の業務の中でいつ自分自身を襲ってもおかしくない危険性を秘めています。今回の研修会で学んだことを今後の業務に活かしチーム・仲間で支え合うことでケアマネジャーが陥る燃え尽きを未然に防げるように実践していきましょう。

◇平成24年度 秋田県県北地区介護支援専門員協会 第3回研修会◇

- ・日時：平成24年12月8日（土） 12時50分～16時00分
- ・場所：能代山本広域交流センター ・参加者：100名
- ・演題：医療・福祉の連携を探る
- ・講師：市原 利晃 氏（秋田往診クリニック院長）

※ 県北協会では、この後も研修会を企画し開催予定です。皆さん！是非県北研修会へご参加下さい。

## 中央地区介護支援専門員協会

地区会長：長澤 利一（秋田けやき会居宅介護支援事業所）

事務局：荒谷 亨（秋田聖徳会養護老人ホーム）

TEL 018-862-3267 FAX 018-862-4998

地区会員：291名 賛助会員：個人1名 団体3事業所（平成25年1月31日現在）

### 【活動報告】

◇平成24年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第1回研修会◇

- ・日時：平成24年4月25日（水） 13時00分～17時00分
- ・場所：秋田県社会福祉会館 10階大会議室 ・参加者：110名
- ・演題：認知症ケアのためのケアマネジメント
- ・講師：小湊 純一 氏（特定非営利活動法人ふくし@JMI）

◇平成24年度 秋田県中央地区介護支援専門員協会 第2回研修会◇

- ・日時：平成24年11月13日（火） 13時00分～16時30分
- ・場所：中央シルバーエリア ・参加者：143名
- ・演題：①法改正後の動向と実地指導等の動向について  
②グループディスカッション  
「介護支援専門員の資質向上と今後のあり方に関する検討会」の資料を基にしたテーマ設定をしました。
- ・講師：①松井 祐子 氏（秋田県長寿社会課）  
②米谷 恭一 氏（あいぜん苑）



### 『中央地区協会年会費の改正について審議しました』

第2回研修会前に臨時総会を開催し「中央地区協会年会費の改正（平成25年度～）」について審議していただき承認されました（改正の内容につきましては、「秋田県介護支援専門員協会」ホームページに掲載しておりますので、ご覧下さい）。

会員の皆様からは、研修会の参加費や内容等について、多くのご意見をいただきました。ありがとうございます。当面は、当協会活動の安定した運営、他団体との連携強化を進めながら、より充実した内容の研修会が開催できるように努めていきたいと考えております。また、会員の皆様の意見交換の場として交流会なども企画していきたいと考えております。

「こんな研修会を開催してほしい」「こんな活動をしてみてはどうか」などのご意見ございましたら、是非、事務局までご提案ください。よろしくお願いいたします。



## 県南地区介護支援専門員協会

地区会長：渡部 勝（特別養護老人ホーム憩寿園）

事務局：鈴屋 和基（秋田県社会福祉事業団 事務局）

TEL 018-889-8361 FAX 018-889-8361

地区会員：264名（平成25年1月31日現在）

### 【活動報告】

#### ○学術研修委員会

##### ◇平成24年度秋田県県南地区介護支援専門員協会第1回研修会◇

- ・日時：平成24年5月12日（土） 14時30分～16時00分
- ・場所：湯沢市 ニュー千寿苑 ・参加者：85名
- ・演題：『災害対策机上訓練』 ～介護支援専門員の役割～
- ・講師：羽後町地域包括支援センター 山内 紀彦 氏



##### ◇平成24年度秋田県県南地区介護支援専門員協会第2回研修会◇

- ・日時：平成24年9月8日（土） 13時30分～17時00分
- ・場所：よこてシャイニーパレス ・参加者：68名
- ・演題：「ケアマネジメントの技能  
～対人援助職としての原点を考える～」
- ・講師：日本福祉大学中央福祉専門学校 校長 長岩 嘉文 氏



##### ◇平成24年度秋田県県南地区介護支援専門員協会第3回研修会◇

- ・日時：平成24年11月17日（土） 14時00分～16時30分
- ・場所：大仙市 フォーシーズン ・参加者：151名
- ・演題：傍らにいたることが許される者になるために  
～求められるケアを創るケアマネジメントの視点～
- ・講師：特別養護老人ホーム緑風園 総合施設長 菊地 雅洋 氏



#### ○制度運用委員会

今年度は、昨年度からの継続事項の「県南地区共通入所申込書」を県南地区各施設のご協力の下に完成する事ができました。（様式等についてはHP参照）

#### ○渉外広報委員会

県南地区広報誌「サポーター」を、8月・2月に発行し会員に送付。

#### ○レクリエーション委員会

会員相互の親睦を図る活動を行いました。

今後も、研修会等様々な機会を通じ地区会員スキルアップと地域の多職種連携に努めてまいりたいと思います。

皆さんも是非県南地区研修会等にご参加ください!!!



## ケアマネ・ペンリレー

### 【野球チーム結成】 きずなケアマネセンター 清水文明（能代山本）

能代商業高校の甲子園の活躍を機に、昨年1月、野球チームを結成しました。

チーム名は「TNP by H-JAPAN」です。（TNPとは、「The Next Pleasure」の略です。）

主に能代・山本地区の医療・福祉分野で働く男性を対象に31人でスタートし、現在は37人おります。しかし、仕事や家庭の関係で、試合に参加できない人も多数おりましたが、他チームなどからの助っ人を借りる事もなく、試合が成立出来たことは、私たちにとっては自慢できる事だったと思います。

昔は私も高校球児でしたので、今回の野球でも内心「やれる」と思っておりましたが、実践では三振の連続でした。やはり16、7年ぶりのブランクは大きかったです。若い人たちの野球を見て、羨ましいと感じながらも、モチベーションが下がらないように、その都度、中日ドラゴンズの山本昌の頑張りを思って、「次こそは…」と気合を入れなおしていました。年齢には勝てませんが、肉離れで休場にならないように、程々に次シーズン頑張りたいと思います。

最後に、職場内での付き合いも少ない状況のなか、医療・福祉分野で野球チームが結成できたことに大変嬉しく思っています。これからも、野球はもちろん、仕事としての連携が図れるように、今のメンバーとの繋がりを大事にしていきたいと思っています。

（TNP by H-JAPAN ホームページ）<http://www1.ocn.ne.jp/~h-japan/>

### 【研修会に参加して】 ケアセンターほほえみ 居宅支援事業所 佐々木タカ（三種町）

H24年8月、「介護保険法改正による新たな展開！利用者を支える医療・介護連携」をテーマとした第6回日本介護支援専門員協会全国大会 in 青森に参加しました。秋田県からは20数名の参加でしたが特に印象深かったものとして「地域包括ケアシステム」の取り組みが挙げられます。内容としては2025年には地域住民は種別に関わらず、おおむね30分以内には生活上の安全、安心、健康を確保するための多様なサービスを24時間365日利用しながら、病院などに依存せず、住み慣れた地域での生活を継続する事が可能になっていることを目指していることが分かりました。今後、団塊世代の人たちが高齢化になることでまさしく「少子高齢社会」へ突入し、介護する人材も不足します。そのため、一人でも多くの人に健康で介護状態にならないために予防の必要性を痛感しました。

そして、夜には字のごとく「～集まれ日本を支える力（地から）、届けようラッセウにのせて～」のねぶた見学。日本介護支援専門員協会の木村会長を先頭に来賓の方々が協会で作ったねぶたを背に加勢をおこないとても盛り上がりました。また一昨年3月11日の東日本大震災を乗り越えて被災地の人々も参加していました。秋田県介護支援専門員協会のホームページを開いてみたところ、介護支援専門員の災害時からの対応状況や震災で得た教訓など記載されとても勉強になり、明日への活力につながりました。皆さんも是非ホームページを覗いてみてください。

ありがとうございました。次回をお楽しみに！！

# 【インフォメーション】秋田県長寿社会振興財団（LL財団）



## 平成24年度秋田県介護支援専門員実務研修受講試験について

受験申込者、受験者及び合格者数（平成24年10月28日実施）

受験申込者数	受験者数	合格者数	合格率
2,112人	1,975人	310人	15.7%

（参考）

	21年度	22年度	23年度
受験者数	1,834人	1,816人	1,887人
合格者数	388人	288人	235人
合格率	21.2%	15.9%	12.5%

①職種別				
	21年度	22年度	23年度	24年度
医師	0	0	1	0
歯科医師	0	0	0	1
薬剤師	2	0	2	1
保健師	2	3	1	5
助産師	1	0	1	2
看護師	28	12	16	15
准看護師	9	2	4	4
理学療法士	2	0	1	2
作業療法士	8	3	1	3
社会福祉士	12	12	6	16
介護福祉士	279	233	181	237
視能訓練士	0	0	0	0
義肢装具士	0	0	0	0
歯科衛生士	2	2	1	2
言語聴覚士	0	0	1	1
あん摩マッサージ指圧師 はり師・きゅう師	3	0	0	0
柔道整復師	0	0	0	0
栄養士 (管理栄養士を含む)	3	4	3	1
精神保健福祉士	5	3	0	2
相談援助業務	15	9	8	11
介護等業務	17	5	8	7
計	388	288	235	310

（人）

②地域別（勤務先による）				
	21年	22年	23年	24年
県北	99	72	50	69
中央	163	129	113	143
県南	126	87	72	98
計	388	288	235	310

（人）

③性別				
	21年	22年	23年	24年
男性	103	80	71	93
女性	285	208	164	217
計	388	288	235	310

（人）

④年代別				
	21年	22年	23年	24年
20代	88	59	48	63
30代	149	100	101	119
40代	89	77	52	84
50代	56	46	28	41
60代	6	6	6	3
70代	0	0	0	0
計	388	288	235	310

（人）

## 秋田県介護支援専門員協会 運営・活動報告

### ◆ 事務局 ◆

#### 臨時総会のお知らせ

平成25年3月20日（水・春分の日）に平成25年・26年度理事を選任する臨時総会を開催いたします。やむを得ず参加できない方は委任状を3月13日（水）まで、県事務局へFAXをお願いいたします。

#### 会員情報の変更をお知らせください

引っ越し・転職・異動等に伴う会員情報（自宅住所、勤務先等）の変更の際には、届け出をお願いします。所定の様式（「届出変更書」）にご記入の上、各地区事務局まで提出願います。

### ◎ 研修部会 ◎

平成24年度は県より事業受託している「介護予防支援従事者研修」を7月に企画、実施しましたが、事業計画に記した「災害対策研修」は実施できませんでした。部会で検討し、25年度には実施できるよう取り組みたいと思います。また、県協会主催の研修についてですが、各地区協会において充実した研修を実施していることもあり、内容や時期の選定に苦心しています。充実した研修を企画、実施するために会員の皆様よりご意見、ご要望をいただきたいと存じますので宜しくご協力のほどお願いいたします。

### ◎ 調査・研究部会 ◎

平成24年度は大同生命厚生事業団の「地域保健福祉研究助成」に申請し、「認知症高齢者のケアプランに活かすアセスメントシートの研究開発」を助成金事業として、調査・研究部会で行っております。これまで4回の部会を開催し、各居宅、施設で使用しているアセスメントシートの収集分析、グループホーム協会の会員3名からヒアリングを行い、アセスメントシートの活用状況と評価を経て、アセスメントシートの項目を整理し、部会員の協議の結果、認知症高齢者の置かれている状況を的確に把握することを主眼に、ご家族とケアマネジャーが協働で作成するアセスメントシート（案）を作成いたしました。

1月には、各圏域の居宅、施設による活用実験をお願いし、各会員のご意見をお聞きしアセスメントシートを完成させ、3月に報告書として取りまとめる予定です。

来年度は、秋田県共同募金会から助成金事業として、「介護支援専門員が関わる認知症高齢者のBPSDと家族ケアのストレスの実際」の研究事業に取り組む予定です。24年度事業も会員の皆様の多大なご協力を得ましたが、25年度は部会員だけでは対応できないと考えており、興味のある会員は、是非私たちと一緒に取り組んでいただきたいので、ご一報を事務局までお願いいたします。調査・研究部会では、少しでも会員の皆様に顔の見える活動をして、介護支援専門員の資質の向上につながればと考えておりますので、今後の活動へのご協力とご理解を賜りますようお願いいたします。

## ◎ 相談部会 ◎

相談部会では、研修会開催時に「困った時は、悩みを聞きます！」のチラシを配布したり、協会ホームページの公開とともに「相談用紙・担当連絡先一覧」をお知らせしております。これまでの間、5件ほどの相談を受けておりますが、中には現在も継続している相談もあり、徐々にお答えができることと思います。

部会設置から「Q&A」の作成を計画いたしておりますが、事例もまだ少なく作成にいたっておりません。今後事例としてホームページに掲載する等の方法で皆様にお伝えできるように進めて参ります。

ケアマネジャー業務のことははじめ、ケアプラン作成、苦情処理、リスクマネジメント、その他さまざまな「悩み」や「疑問」「こんなこともあった」等の情報も含めて気軽にご相談、お知らせください。

ご相談に関しましては、電話、FAX、メールでお願いします。相談用紙をご使用になるか、記載内容事項にあわせてご相談ください。

## ◎ 広報部会 ◎

広報部会では、本年度『秋田県介護支援専門員協会ホームページ』を開設いたしました。

県事務局はじめ、各部会・各地区活動・研修会情報等幅広く県民の皆様や、会員他への情報提供ができるようになりました。今後、皆様からお寄せいただきましたご意見を参考に協会活動の周知や情報提供に努めてまいりたいと思っております。

## 平成25年度会費納入に伴う

### リコーリースの振替手続きにご協力ください

リコーリースの会費振替手続きが済んでいない会員の皆さまで振替手続きを希望する方は、振替依頼書（各地区事務局にあります）に記載・押印（金融機関届出印）の上、3月6日（水）までお手続き下さい。

なお、振替依頼書は、4枚複写となっております。4枚目は本人控えとなっておりますので、3枚のみ提出していただきますようお願いいたします。振替申込書は各ブロック事務局へお問い合わせください。（詳細は県協会ホームページをご参照ください。）

第11号（発行日 平成25年 2月20日） 年1回発行

発行 特定非営利活動法人 秋田県介護支援専門員協会

事務局 〒010-0922 秋田県秋田市旭北栄町1番5号 秋田県社会福祉協議会内

Tel: 018-864-2715

Fax: 018-864-2702

E-mail: shisetsu@akitakenshakyō.or.jp

広報部会 渡部 勝（県南地区介護支援専門員協会） 長澤 利一（中央地区介護支援専門員協会）

飯坂 正美（県北地区介護支援専門員協会） 渡邊 寛（県南地区介護支援専門員協会）

綿貫 哲（中央地区介護支援専門員協会）